

会 議 録

| | |
|-----------|---|
| 会議の名称 | 行田市立図書館協議会 |
| 開催日時 | 平成20年7月17日(木) 開会：13時30分 閉会：15時12分 |
| 開催場所 | 図書館 ミーティングルーム |
| 出席者(委員)氏名 | 保泉委員長、長谷川副委員長、松井委員、町田委員、奥山委員、大澤委員、東委員、小林委員、木島委員 |
| 欠席者(委員)氏名 | 阿久津委員 |
| 事務局 | 安部図書館長、吉田 |
| 会議内容 | (1) 平成19年度行田市立図書館事業報告について (2) 平成20年度行田市立図書館事業計画について 行田市立図書館当初予算概要について 行田市立図書館事業計画について 行田市子ども読書活動推進計画について 県外視察について (3) その他 |
| 会議資料 | (資料名・概要等) 行田市立図書館協議会会議資料 図書館へようこそ(統計資料) 行田の教育 |
| その他必要事項 | |

| 発 言 者 | 会議の経過（議題・発言内容・結論等） |
|-------|---|
| 事 務 局 | 市民憲章唱和 1 開 会 2 委嘱状の交付 大山生涯学習部長 3 あいさつ 大山生涯学習部長 4 自己紹介 委員及び事務局 5 正副委員長の選出 |
| 事 務 局 | 「行田市立図書館協議会設置条例」の第4条に正副委員長は委員の中から互選により選出するとあるが、委員の皆様の意見を伺いたい。 |
| 委 員 | 事務局案があるのなら示してほしい。 |
| 事 務 局 | 特に意見が無いのなら、事務局案を提示させていただく。委員長に保泉委員、副委員長に長谷川委員を提案したい。 （全員の承認を得た） |
| 事 務 局 | 6 新委員長あいさつ 保泉委員長 7 議 事 （1）平成19年度行田市立図書館事業報告について |
| 事 務 局 | 「図書館へようこそ」(統計資料)を基に、平成19年度の利用統計及び実施事業について事務局が説明を行った。 （報告事項であるため特に意見は無く、委員全員の承認を得た。） |
| 事 務 局 | （2）平成20年度行田市立図書館事業計画について 行田市立図書館当初予算概要については会議資料の2～4ページを基に、 の行田市立図書館事業計画については行田の教育の50～51ページを基に、 の行田市子ども読書活動推進計画については会議資料の5～6ページを基に、 の県外視察については会議資料の7ページを基に事務局が説明を行った。 特に の県外視察については、当初1泊での視察研修を予定していたが、視察の目的として図書館情報システムや効率的な窓口業務などのソフト面に重点を置けば、県内でも先進的な図書館があり日帰りでも十分に視察ができると思われる。そこで、日程 |

| | |
|-----------------------------|--|
| <p>委員 長 事務局</p> | <p>を日帰りに変更したいと考えているが、委員の意見を伺いたい。 事務局は、視察先としてどこか候補地を考えているのか。 具体的には無いが、最近オープンしたさいたま市の北図書館や川越市の図書館なども、最新のシステムを備えていると思われるので候補地として考えられる。</p> |
| <p>委員 長 事務局 事務局</p> | <p>視察はいつ頃実施する予定なのか。 例年どおり2月頃予定している。 補足説明として、近隣の自治体の中には指定管理者制度の導入や図書館の窓口業務などの簡易業務を、民間委託へと変更を検討しているところもある。本市においても効率的な図書館運営を進める上で、検討する必要がある。</p> |
| <p>委員 事務局</p> | <p>現在、民間に業務委託をしている図書館はどのくらいあるのか。 部分的ではあるが県内では14の市が民間に業務委託を行っている。</p> |
| <p>委員</p> | <p>進修館高校などの学校図書館の中には、地域に根ざした図書館運営を進めているところもある。相互貸借などで学校図書館と公立図書館が連携している事例などがあれば、視察の候補地として挙げてほしいのではないか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>ソフト面の充実を目的とした視察には賛成であるが、運営面だけでなく、図書館が地域の核になり生涯学習の情報発信拠点となっている事例などがあれば視察してみたい。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>また、視察とは別の内容だが、平成13年度からの第4次総合振興計画において、平成22年度までに蔵書冊数を30万冊にすることを目標にしているが、先ほどの事務局の説明の中で、平成25年度までに蔵書冊数を30万冊にしたいと説明があった。毎年、廃棄する資料などがある中、実際にはどのような蔵書計画により蔵書冊数を増やしていくのか。 教育文化センター建設基本計画の中では、第4次総合振興計画に併せて30万冊を所蔵するように努めるとしているが、この図書館がオープンした平成15年度は図書費が4千万円、平成16</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>年度が4千10万円、平成17年度3千3百万円、平成18年度が2千7百10万円と予算が減額してきており、予算の変動が激しいため計画通りに進まないのが現状である。毎年7万5千冊から7万7千冊の図書が新たに出版されている状況の中、安定した予算措置が望ましいと考えている。今後とも利用状況等を勘案し、継続的かつ計画的に蔵書計画を立て整備してまいりたい。</p> |
| 事務局 | <p>この会議の席上で、視察を宿泊で行うか日帰りで行うかを決めていただければ、事務局が候補地を選定し次の会議で提案したい。</p> |
| 委員長 | <p>視察を日帰りにすることに対して協議会としては異存は無いようなので、候補地の選定をお願いする。</p> |
| | <p>(3) その他</p> |
| 事務局 | <p>その他として、図書館情報システムが今年度再リースとなったことから、平成21年度に向けてシステムの更新のための準備を進めている。</p> |
| 委員 | <p>その他になるが、地域公民館に設置している図書室の運営について、市立図書館としてどのように考えているのか。</p> |
| 事務局 | <p>平成14年度までは図書館の図書を各地域公民館に貸出しており、この新しい図書館が開館した時を契機にそれぞれの公民館にそれらの図書27,390冊を移管した。そのため、現在地域公民館にある図書は、全てその公民館の蔵書であり、図書の購入や廃棄はそれぞれの公民館の判断に委ねられる。なお、公民館法が改正されたことから、公民館に図書室は必須の条件では無くなったので、それぞれの公民館の判断で図書室を閉鎖することも可能である。</p> |
| 委員 | <p>地域公民館と連携している公立図書館などがあれば、先ほどの視察の候補地としてもよいのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>8 閉 会</p> <p>以上で行田市立図書館協議会を閉会とする。</p> |